

毎日、毎日、自分の出来ること誠実にやっていく。



手描友禅 石渡弘信

いしわた ひろのぶ

—手描き友禅をやろうと思っただけは？

特別着物が好きな訳でもないし、理解あわけやないけど元々手動かして作業するのが好きだった。そんなことが出来る仕事に就けたらなと漠然と考えていたら叔父が動いている着物屋がすこしくなってきたので叔父を動かして、そこで食べたいことと思っただけけど、印刷じゃなくて手描きになっちゃたよ。(笑)

—続けようと思った決め手は？

やりだしたら面白いね、自分で努力したものが形になって、こう…見えてくる感じが良かったです。僕はどっちかといったらあまり協調性のない性格だから会社勤めとか集団行動で動くのが苦手なんだ。だから自分でモノを作って自分の確認して生きていくのが幸せだなと思っただけ。まあ、5年とかそのサイクルで繰り返ると5年前に出来なかったことが5年後にちょっと出来るようになったり、そして10年たったらしっかり出来るようになって、そうやって過去を引きずっていられたら10年もたってしまっただよ。そうやっていくと僕も能力がある人がたくさん横切っていて、すぐ着物を染めし得ちゃうからやめていくんだよ。僕には能力がありませんから人の倍の倍努力して解決してきたから…やっぱり継続すること大事なんだよ。

—最大のピンチはありましたか？

お得意先の葬が満了したとき。結婚して子どもが生まれて…ピンチじゃないけど焦りはあったね。探せば仕事はいっぱいあった…。着物だけしかみついているわけでもないし、小学生に体験教室を開いたりしています。とにかく手を動かしていれば満足だったなあ…。ピンチは…ありすぎちゃってどれか最

大かた分らなくなっちゃった。お勘がもらえなかったりとか、もらうために地べたにお金を放りなげられて「拾ってよってけ」みたいなこともあったね。でもね、そういうことをされること経済的なことで続けられるからね、それがバネになった。やっぱりネガティブにどるかポジティブにどるか変わっていくんだよね。いろんな難をたくさんくぐって、人間性が鍛えていく。人間性にか降りかからないと駄目になるからね。原発事故とか、だから形がなくなっていくと作りでコトにあるという形になって、手仕事なんか認められるようになるのではないかと、自分のボトの好きなモノを周りにおいて生活したくなる。そういう時代が来るにはもうどんな生き方を変えなければならぬけど、伝統的な仕事をやっていくと古い伝統のどこを残して新しい伝統を加えていくというところが、本当の意味の伝統のしなやかさ、そういうのに関わっていくと日本の将来が見えてくるような気がして…、マイスターって仕事をやっていくからハチチャルじゃないから自分で実際に動かさないといけないんだよね。それはとにかく科学技術が発展して手仕事っていうのは一番根元にある、想像出来るものが大事なので、想像出来ないところを想定外とどうとどうに立ちまわったね。それなりのことをやるとどんなとんでもない対応をよこすんじゃないよ。

—仕事のストレスの解消の仕方は？

仕事でのストレスか…今はあんまりストレスはないね。(笑)昔は何かあったら多摩川の土手を歩いたりしたね。今も家から出て散歩をしていると春を歩くかな、東京は色んなものがあつまるから展覧会を眺めに行ったりするね。

—趣味はなんですか？

趣味ねえ…今は水泳が一番楽しいね。段々タイムが上がっていくし…最初は下手だったけど見ると

ていくね、この歳になって。(笑)最近だと若い人と同時にスタートして時々勝つんだよ、それで「今日は勝ったあ!!」と思っただけ。だからそのうちマスター戦とか出たら良い感じいかもしれないねえ…。出場者が1〜2名で優勝できるかもしれない。それが楽しみだね。(笑)

—手描き友禅の魅力とは？

友禅の魅力…何だろうねえ…。時々、やっていくと自分の思っているのと見えないような良いものが出て来たりするから…それが手仕事の良さっていうの？最近のデザインだと緻密な計算をして、ある程度予想通りのモノが出来れば、手仕事っていうのは何かと神様と一緒に作業することがあって、そういう場所を助けてもらう自分でも見たことのない出来映えになる。でも神様も時々意地悪するね。自然と一緒にやるから湿度、温度、そいつら風の具合とか…。でも、それが面白いのかもしれない。焼き物と一緒にね。1個だけ計量外があるを羨しい。中々上手くいかないときもあるけれど、上手く行かない方が良いかもね。お預かりの生地はさっしう訳にはいかないけど、工場の仕事は量産で儲かる、僕らの仕事は数を少なくするのとて信打が上がると、同じデザインでもそこが違ったり面白いかもしれないね。

—若い頃は？

あまり勉強しなかったけど…山によく友達と行ってたね。休みがあれば山…：休みがあまりなかったけど、昼仕事をして夜学校っていう感じだったから最初は夏休みも正月も休みがなかったね。でも、身体が疲れて帰るのが満足だったかな…。もっと色んなことをしてあげれば良かったよ。(笑)

—生まれ変わったら何をやりたいですか？

友禅をやるかどうかわからないけど、とにかくモノを作る仕事、手を動かしたい。でも、生まれ変わったときには着物を着る人がなくなるとは嫌だ。手仕事っていう仕事が無くなるかもしれない。(笑)

—最後に私たち卒業生に向けてメッセージを下さい！

…今の子供の年齢だと、どへ行ってたって可愛いと見える年齢だから…とんだん胸を取ると体験する幅が狭まるし、警戒されていく、せつかつたから自分らしく生きるのもまたね。一生を謳歌して、家族のことでやってはいけない決まりもある。結婚したら自分の家族だけじゃなく親戚も出来たり…。人生は皆、迷惑をかける人生きていけない。そう思うと明日から良い仕事が出来そうかな。(笑)

